

農場通信 2025年 2月号

2025/1/27

トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

① 圃場 ハウス ② 試験内容

③ 開始日 ④ 終了予定

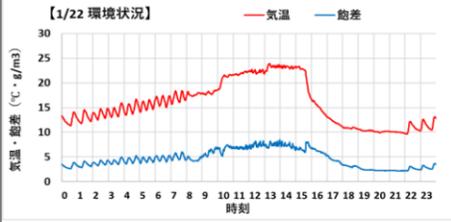
① 第4 A ② ココバッグ栽培展示 バッグ比較試験 ③ 2024/9/9 ④ 2025/7月末

品目	圃場写真①	圃場写真②
<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"><div style="background-color: #90EE90; width: 15px; height: 10px; display: inline-block;"></div> 栽培中</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"><div style="background-color: #D3D3D3; width: 15px; height: 10px; display: inline-block;"></div> 栽培準備中</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"><div style="background-color: #F08080; width: 15px; height: 10px; display: inline-block;"></div> 今月最終</div>		
直近の環境データ・管理方法(晴天日) ※特に表記のないものは 設定と実測の温度を示しています		今月の状況 と 今後の管理

大玉トマト



【1/22 環境状況】



ココバッグ栽培の展示ハウスになります。通常タイプのココバッグと、ココバッグ「ミニ」の比較試験を行います。品種は桃太郎ホープ(台木:アシスト) 9/9定植。日射量の最も小さい時期を過ぎ、2月に向けて温度を徐々に上げていきます。ただし早朝の加温は燃料消費が増加、午前の上昇は結露のリスクがあるので、主に午後から日没までの温度をまずは上げていきます。2月は日平均気温を17℃程度を目標とします。

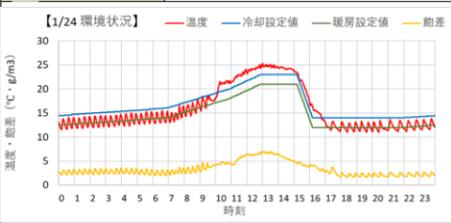
① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験 ③ 2024/7/29 ④ 2025/6月

① 第4 C ② 大玉トマト品種比較試験 ③ 2024/7/29 ④ 2025/6月

ミニトマト



【1/24 環境状況】

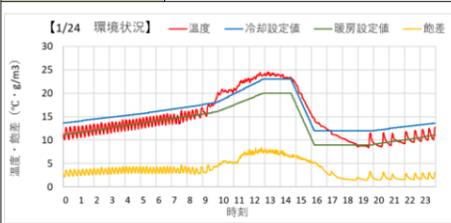


日中23℃前後、夜間13℃前後で株あたり1400mlで灌水管理。
20段目前後が開花しています。
給液ECは2.3まで上げ、しっかり肥料を与えるようにしています。
糖度は6後半～7後半となっております前回に比べ上がっています。

大玉トマト



【1/24 環境状況】



日中24℃前後、EC2.3 株あたり1000mlで灌水しています。
15-17段目が開花しています。
草勢が落ちていたため、年末から夜間温度を下げ、草勢を戻しました。少しずつ管理温度を上げて、春に向けて栽培を続けていきます。

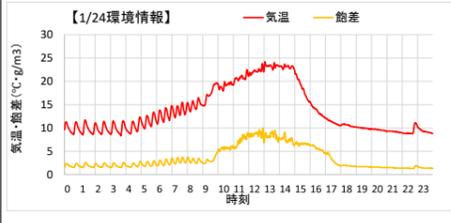
① 第4 D ② バリエーティートマト品種比較試験 ③ 2024/7/25 ④ 2025/4月

① 第4 E ② イチゴ栽培試験 ③ 2024/7/23 ④ 2025/6月

バリエーティートマト



【1/24環境情報】



日中24℃前後、EC2.3 株あたり1000mlで灌水しています。
15-18段目が開花しています。
年末、着果負担により、樹勢が落ちていましたが現在は回復してきています。

イチゴ



【1/24環境情報】



本葉5～6枚、株150cc給液、給液EC0.7で管理。
摘果、摘花は果房あたり7果になるようにしています。
1月中旬に紅ほっぺの収穫開始。
ハダニが少し発生しているようだったので、ミツトツプを放飼しました。

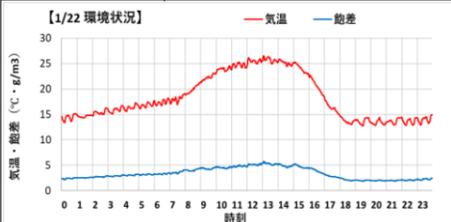
① 第4 J ② ココバッグ養液栽培試験 品種比較試験 ③ 2024/10/2 ④ 2025/4月末

① 第4 I ② 高糖度ミニトマト品種比較試験 ③ 2024/8/30 ④ 2025/7/1

キュウリ



【1/22 環境状況】

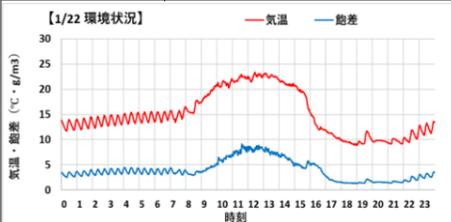


10/21に定植しました。今作はココバッグを使った養液栽培に適する品種比較試験ということで、穂木品種8種類・台木品種4種類を栽培します。
日射が最も少ない時期を過ぎ、草勢は強くなる傾向です。収量も今後徐々に増加していく見込みです。日中は閉め切っていると温度が上がりますので、適度に換気して最高温度27℃程度までで管理します。日射の増加に伴い吸水量が一気に増えていくので、不足ないようにしていきます。

高糖度ミニトマト



【1/22 環境状況】



ミニトマトの高糖度栽培での品種比較試験を行います。培地はココバッグ、肥料はオリジナルの高糖度用単肥処方を使用します。
台木はアーノルドで統一。穂木品種は6種類です。給液ECは現在5.0で管理、排水ECは20以上になっています。今後は気温が上がっていくので、ストレスがかりすぎるなら給液ECは徐々に下げていきます。糖度は品種で差がありますが8度～10度程度まで上がっています。



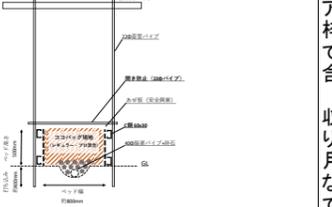
豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp

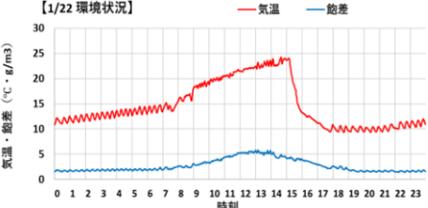
① 第6 ② キャベツ品種比較試験 ③ 2024/8月~ ④ 2024/11月~

キャベツ	 
<p>【作型一覧】 冬系1作目 7月26日播種 8月18日定植 冬系2作目 8月1日播種 8月27日定植 冬系3作目 8月8日播種 9月6日定植 冬系4作目 8月20日播種 9月14日定植 冬系5作目 8月23日播種 9月17日定植 春系1作目 8月23日播種 9月17日定植</p>	<p>冬系5作型 春系1作型（詳細は左記のとおり） 1作目・2作目が高温と大雨により初期生育不良となり、収穫が大幅に遅れ、全体的に不出来となりました。特に台風直前の定植となった2作目が不良。 3作目も初期が高温だったため、昨年よりもやや不良、4作目以降は順調です。 12月以降、夏とは逆に例年よりも気温の低い時期が続くので、低温肥大性の違いをしっかりと確認していきます。</p>

① 第3 M ② アスパラガス柵板式高畝栽培試験 ③ 2023/6/2 ④ 周年

アスパラガス	 
	<p>アスパラの「柵板式高畝栽培」の実証試験。柵板で隔離したベッドにココバグの中身を入れて養液栽培をします。品種も新しいタイプ3種類を含む、計6種類栽培しています。</p> <p>収穫は11月下旬で概ね終了しました。品種により収量の違いや、品質の違いが見られました。1月に茎葉の刈り取りを実施し、今は地上部は何もない状態。次の収穫始まりは2月中下旬を見込んでいます。</p>

① 第8 ② 『持続可能な施設園芸』実証試験 ③ 2024/9/2 ④ 2025/7月末

大玉トマト	 
	<p>サステナブル・グリーンハウス『持続可能な施設園芸』実証試験として、減農薬・肥料削減・脱炭素を目標とした各種取り組みを行います。 減農薬⇒天敵・防虫ネット・捕虫シート等々を組み合わせたIPM 肥料削減⇒排液リサイクルシステムを使った栽培実証 脱炭素⇒暖房の排ガスからCO2を分離して再利用</p> <p>定植は9/2に行いました。品種は「かれん」になります。ここまでで、排液はほぼ全量を再利用、CO2は暖房排気ガスから回収した分で400-500ppmを維持、コナジラミはほとんど見かけない状況で、生育は概ね順調です。今後は給液量や換気量が一気に変わってくるので、引き続き様子を見ていきます。</p>

① 第7ハウス ② 産直向け品目 ③ 2024/10月中旬 ④ 2025/03頃

産直品目	 
<p>10月中旬より定植と播種を行いました 12月初旬に葉物については再播種を行いました</p>	<p>12月初旬に再播種したものについては、2月中旬以降で見頃になりそうです。</p> <p>現在、芽キャベツやケール、セロリなどが見頃 赤色のカリフラワーについても出書を確認しています。</p>

① 第2 ② ブロッコリー品種比較試験 ③ 2024/9月上旬 ④

ブロッコリー	 
<p>4作目 8月25日播種 9月20日定植 5作目 8月30日播種 9月25日定植 6作目 9月10日播種 10月5日収穫 7作目 9月20日播種 10月17日定植</p>	<p>現在、4-5作で収穫を行っています。</p> <p>昨年末は、降水量が少なく、気温が低かったため生育が停滞していましたが、年明け以降、雨と暖かい日が続いている為順調に生育しています。</p> <p>ただし、年末寒波により霜害を受けている品種もあるため、状態を確認していきます。</p>



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
 愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
 URL <https://www.toyotane.co.jp/>
 E-mail info@toyotane.co.jp